



2019.11.20

報道関係各位

アストンマーティン・ジャパン

Press Release

**アストンマーティン、新型 DBX を発表：
スポーツカーの遺伝子を受け継いだ SUV モデル**

- アストンマーティンがセカンドセンチュリープラン導入後の 4 台目のニューモデルを発表
- 106 年の歴史を誇る英国のラグジュアリー・ブランド初の SUV
- アストンマーティン史上もっとも幅広いデザイン・エレメントを採用
- スポーツカーのダイナミクスから優れたオフロード性能に至る幅広いキャラクター

2019 年 11 月 20 日、北京(中国)：

アストンマーティンの 106 年の輝かしい歴史における、大胆かつ新しい扉が開かれました。アストンマーティンは、本日、ブランドを新たな高みへと引き上げる初の SUV モデル、DBX を発表しました。

-2015 年に始まった DBX の開発では、バーチャル・モデルの活用に始まり、昨年からは英国のウェールズで開始された実地テストに至るまで、広範囲な開発プログラムが実施されました。その集大成として完成したこのニューモデルは、アストンマーティンの新たな時代を示し、これまで参入してこなかった新しいセグメントに、優れたパフォーマンス、スタイル、高い実用性を提供します。ラグジュアリー SUV に期待される多用途性に、スポーツカーのダイナミックなパフォーマンスを融合した DBX は、この分野における新たな基準を打ち立てます。

アストンマーティン・ラゴンダ社長兼グループ最高経営責任者(CEO)のアンディ・パーマーは、次のように述べています。「アストンマーティンにとって、DBX が如何にエキサイティングで重要なクルマであるかを、とても言葉で語り尽くすことはできないでしょう。開発面だけを見ても、この美しい SUV モデルは、アストンマーティンを新たな領域へと導き、その方向性を明確に示しています。DBX は、弊社のセカンドセンチュリープランの第 3 フェーズと最終フェーズの実現において極めて重要な製品であり、計画で約束したポートフォリオの拡大を実現するだけでなく、アストンマーティン第 2 の工場の稼働開始の合図を示すものでもあります。私たちは、弊社の高度な専門知識を通じてこのモデルを開発しましたが、Female Advisory Board(女性諮問委員会)を含む外部の助言から得られた貴重な経験と知識も反映しています。DBX



は、偉大な英国ブランドの真のランドマーク・モデルであり、日常生活のあらゆる瞬間で、その素晴らしさを体験できるクルマに仕上がっています。」

DBX は、ウェールズのセント・アサンに建設されたアストンマーティンの専用施設で生産される予定で、この分野で珍しい SUV 専用の新しいプラットフォームをベースにしています。このニューモデルは、まったく白紙の状態から開発が始まりました。アストンマーティンのすべての部門が一致協力し、英国デザインの限界を打ち破る革新的なエンジニアリングにより、真に驚くべき製品が誕生しました。

アストンマーティンは、スポーツカーの開発を通して改良を重ねてきた接着アルミニウム構造の技術を活用して、極めて軽量かつ堅牢な DBX 専用のボディを設計しました。DBX の装備重量は、わずか 2,245kg です。DBX は、開発当初から、最大限のキャビンスペースを確保することを目標に掲げて設計され、前席および後席に、洗練され、クラスをリードする広々とした空間を生み出すことに成功しています。その一方で、新しいプラットフォームによる優れた剛性により、DBX はオンロードとオフロードの両方で並外れたダイナミクスを発揮します。

アダプティブ・トリプルチャンバー・エアサスペンションは、最新の 48V エレクトリック・アンチロール・コントロール・システム (eARC) およびエレクトロニック・アダプティブ・ダンパーと組み合わせられ、幅広い走破力を実現しています。エアサスペンションにより、ライドハイトを 45mm 上昇させるか、50mm 下降させることが可能で、あらゆる地形に対応することができます。このシステムは、走行中に大きなメリットを提供しますが、乗員の乗り降りや、荷物の積載時といった、実用面でも優れた利便性を提供するようにプログラムされています。

アダプティブ・トリプルチャンバー・エアスプリングは、スプリングの硬さを変化させることが可能で、ラグジュアリー・サロンの快適性とダイナミックなパフォーマンスを両立させています。非常に優れた eARC (車軸あたり 1,400Nm のアンチロール・フォース) は、DBX のボディ・ロールを抑制することで、スポーツカーのようなハンドリングを実現します。非常に洗練されたアダプティブ・エアサスペンション、ダンパー、eARC を組み合わせたシステムにより、最大 5 人の乗員と荷物を積載した場合でも、優れた乗り心地を維持しながらも、鋭いレスポンスと動力性能を提供します。

DBX には、DB11 および Vantage にも搭載されている 4 リッター・ツインターボ V8 エンジンの最新バージョンを搭載しています。最高出力は 550PS、最大トルクは 700Nm で、このモデルの特定のニーズに合わせて慎重にチューニングが施されています。DBX は、アクティブ・エキゾースト・システムにより、ラグジュアリーな SUV モデルの洗練されたサウンドから、アストンマーティンならではの爽快なスポーツカーのエキゾー



ストノットまで、幅広いサウンドを奏でます。この多用途なエンジンは、燃料消費量を削減するため、シリンダー休止機能を備えていますが、そのポテンシャルをフルに発揮すると、0～100km/h をわずか 4.5 秒で加速し、最高速度は 291km/h に達します。

このパワーとトルクを路面に伝達するのは、9 速トルクコンバーター・オートマチック・トランスミッションで、アクティブ・セントラル・ディファレンシャルとエレクトリック・リア・リミテッドスリップ・ディファレンシャル(e デフ)を備えた 4 輪駆動システムに合わせて調整されています。これにより、車両の前後および左右のリア・アクスル間で、トルクを正確に配分することができます。スポーツカーのようなフィールとレスポンスを実現するようにチューニングされた専用のステアリング・システムと組み合わせることにより、DBX はどのような条件でも、ドライバーに圧倒的なコントロール性をもたらします。

アストンマーティン初のフルサイズ 5 人乗りモデルは、あらゆる地形を走破可能だけでなく、様々なライフスタイルのニーズやオーナーの要望に幅広く対応することができます。DBX は、99 パーセンタイルの男性から 5 パーセンタイルの女性まで、非常に幅広い乗員のニーズを満たすように設計されており、購入当初から、乗りやすく、扱い易いモデルとなっています。

632 リットルの積載スペースと 40:20:40 の分割可倒式リアシートを備えた DBX は、クラス最高レベルの室内スペースを備えた SUV モデルとして、非常に柔軟な積載能力を特徴としています。積載スペースは、実用的で使い勝手の良い空間を提供します。狭く設定されたローディングシルと広い開口部により、スーツケース、ゴルフバッグ、スキー用具など、様々な荷物を簡単に積載することが可能です。

DBX には、利用可能なすべてのアクティブセーフティ・システムを含む充実した標準装備に加え、数多くのオプションやアクセサリ・パッケージが用意されています。これらのパッケージを利用することにより、お客様のニーズ、スポーツや娯楽といった趣味に合わせて、クルマをカスタマイズすることが可能です。例えば、ペット・パッケージには、散歩の後の汚れた足を洗うための、ポータブル・ウォッシャーが含まれます。また、スノー・パッケージはブーツ・ウォーマーを提供して、スキー旅行を楽しいものにします。

DBX の豪華なハンドクラフト・インテリアは、前席に座っていても、後席に座っていても、同様の広いスペースと快適性を提供するように設計されています。クラス最高レベルのヘッドルームとレッグルームは、フルレンジのガラス・パノラマルーフとフレームレス・ドアガラスと組み合わせられ、明るく広々としたキャビン環境を提供します。前席にスポーツカーのシート・パッケージを採用することで、ドライバーに並外れたサポート性とロングドライブにおける快適性を提供する一方で、後席乗員用の膝と足元の追加スペースも確保しています。



セパレートタイプのセンター・アームレスト、グローブボックスのデザイン、コントロール・スイッチ類の人間工学に基づいた配置など、DBX は、あらゆるディテールに至るまで、アストンマーティン・ブランドの Female Advisory Board(女性諮問委員会)、ディーラーからのフィードバック、世界中で開催される様々なプライベート・フォーカス・グループの意見が反映されています。インテリアの設計だけでなく、提供されたガイドンスは、DBX の全体的なデザインにも反映され、成功のカギとなっています。

シートの張地には、長年のパートナーである“Bridge of Weir Leather”から調達した最高級フルグレイン・レザーが採用されています。ヘッドライニングと電動ルーフ・ブラインドはどちらも業界初の豪華なアルカンターラ仕上げが施されており、ヘッドルームを損なうことなく調和の取れたデザインと遮光性を両立させています。DBX は、キャビン全体を通して、厳選されたメタル、ガラス、ウッドを慎重に使用しています。

さらなるデザイン・ハイライトとしては、エレガントなブリッジタイプのセンター・コンソールが挙げられます。このコンソールは、下部の収納スペースと美しい造形を特徴としています。これにより、ドライバーは、貴重品を助手席に置いたり、汚れたフロアに置いたりすることなく、すぐ手が届く場所に収納しておくことができます。アストンマーティンのパーソナライゼーション・サービスである「Q by Aston Martin」を利用すると、オプションとして 1 枚のクミ材から機械加工したセンター・コンソールを装備することによって、豪華な雰囲気と素晴らしい触感を楽しむことができます。

また、モダンなウッドパネル、複合材、金属パネルなど、オーナーの好みに従って、インテリアを様々な組み合わせに変更することも可能です。これには、革新的な各種素材と、80%のウールで作られたファブリックといった業界初の試みが含まれます。最高級の亜麻と同じ植物から得られた新しい複合材は、カーボンファイバーの代わりに使用され、独特の美学を表現しています。

これらの装飾パネルに囲まれたディスプレイには、最先端のテクノロジーが採用されています。10.25 インチの TFT スクリーンは、センター・コンソールにエレガントに収まり、12.3 インチの巨大な TFT スクリーンは豊富な情報をドライバーに提供します。また、Apple CarPlay に加え、360° カメラシステムと、2 つのゾーンで 64 種類のカラーを提供するアンビエント・ライトも標準装備されています。

DBX のエクステリアは、アストンマーティン・スポーツカーのエレガンスを SUV の世界に取り入れて、インテリアと同じように細部に至るまで、徹底的にデザインが練り込まれています。フロントエンドの象徴的な「DB」グリルから、彫刻的な曲面を描くサイドパネル、フィーチャー・ライン、Vantage からインスピレーションを得たフリップ付きテールゲートに至るまで、DBX のエクステリア・デザインは、一目でそれがアストンマーティン



インのクルマであることが分かります。フレームレス・ドアは、サイドガラスのシールが巧みに隠され、B ピラー・フィニッシャーといった美しいディテールが、エレガントで自信に満ちたスタイルを演出しています。また、スリムなドアシル・エリアにより、豪華なキャビンへの乗降性が改善している一方で、ディナーへ招待された際に、ドレスやスーツの裾が汚れるリスクを低減しています。

設計プロセスにおいて、エアロダイナミクスは重要な要件となりました。これには、DB6 を搭載したトレーラーを牽引した状態で、計算流体力学(CFD)でテストする新しい試みも含まれています。車両のフロントには、デイトタイム・ランニングライト(DRL)に統合された空力ダクトが設置され、フロントホイール・アーチとサイドパネルに沿ってエアを送り、ブレーキを冷却しながら抗力と揚力の両方を削減しています。車両上方のエアは、ルーフの上、リア・ウイング、リア・ウィンドウ、リア・フラップへときれいに流れます。このユニークなアプローチとデザインにより、走行中にリア・ウィンドウをクリーンな状態に保つことができます。空力デザインは乗客の快適性においても重要な役割を果たしています。コンピューターによる空力音響技術を使用している数少ない企業の 1 つとして、アストンマーティンのエンジニアはキャビンのノイズレベルを最小限に抑えることに成功しています。

アストンマーティンは、世界中で販売台数を拡大することを目標に掲げたこの SUV モデルが、英国ウェールズのセント・アサンに建設された新しい工場で生産される非常に誇りに思っています。4 輪駆動システムを備えた DBX は、天候や地理的な条件によって、後輪駆動のスポーツカーが敬遠されがちな市場において、アストンマーティンのプレゼンスを高めることができるクルマです。前席でも後席でも、豪華で広々としたキャビンを強調することで、自分で運転することよりも、後席で寛ぐことを好むお客様にも訴求することができます。

さらに、この画期的なモデルの最初の 500 人のオーナーの方々は、専用の「1913 パッケージ」による恩恵を受けることができます。このパッケージには、専用のフェンダーバッジ、シルプレート、限定生産車であることを示す検査プレートが装着され、アンディ・パーマーによって個人的に承認および検査されます。さらに、それぞれのお客様には、アストンマーティン・バイス・プレジデント兼チーフ・クリエイティブ・オフィサーのマレク・ライヒマンによる署名入りビルドブックと、アストンマーティン・ラゴンダのエグゼクティブチームのメンバーがウォルドーフ・アストリアで主催する、カクテルパーティーへの招待状も提供されます。

Dr. アンディ・パーマーは次のようにコメントしています。「DBX は、これまでアストンマーティンを所有したことのない、多くの人々を魅了することになるでしょう。そのため、スポーツカーで確立されたコアバリューに忠実であると同時に、ラグジュアリーSUV モデルに期待される多用途性も提供する必要がありました。美し



いスタイル、最高のクラフトマンシップ、そして高度なテクノロジーを備えたこのクルマは、アストンマーティンの誇りです。」

希望小売価格は、それぞれ 158,000 ポンド(英国)

こちらのプレスリリースに関する画像は下記よりダウンロード可能です。

画像ダウンロード

<https://we.tl/t-dYzjOCAnEs>

静止動画

Minotaur Green: <https://we.tl/t-3JXxdnOwqs>

Hyper Red: <https://we.tl/t-jMo8wZJmxK>

* 3 年間のサービスを含む

###

詳しい情報は、ウェブサイト(www.astonmartin.com または www.astonmartin.com/media) から入手可能です。

Aston Martin Japan の [Twitter](#) も開設されていますので、併せてご確認くださいませ。

ブランド・コミュニケーションチームの [Twitter](#) も開設されています。

アストンマーティン・ソーシャルメディア・チャンネルは、以下のリンクからアクセスできます。

- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- [Instagram](#)
- [Google+](#)
- [Pinterest](#)
- [YouTube](#)
- [LinkedIn](#)
- [Vine](#)

メディア問い合わせ先:

コスモ・コミュニケーションズ
アストンマーティン PR チーム
今野 博文



Tel: 03-6434-5839

M: 090-6180-0281

hirofumi_konno@my-z.co.jp

田村 沙智

M: 090-5476-2554

sachi_tamura@my-z.co.jp



添付 1

DBX 仕様

ボディ&デザイン

5 ドア SUV ボディ・スタイル
接着アルミニウム製ボディシェル
アルミニウム & 複合材ボディパネル
ツインベント付きクラムシェル・ボンネット
DB シグネチャー・フロントグリル
デイトタイム・ランニングライト付きシグネチャー・ライトエアダクト
シグネチャー・リア・ライトブレード
リア・エアロウイング
フラッシュフィット・ドアハンドル
サテッククローム・トリム、ウィンドウ・サラウンド & サイド・ストレーキ
アストンマーティン・ウイング & ワードマーク
フラッシュ・ガラスとドアエッジ後方に隠されたシールを備えたフレームレス・ドア
パノラマガラス・サンルーフ
ルーフレール

エンジン

4.0 リッターV8 ツインターボ
排気量: 3,982cc
ボア: 83mm
ストローク: 92mm
圧縮比 8.6:1
オールアロイ構造
32 バルブ、DOHC
デュアル・バリアブル・カムシャフト・タイミング
可変電子式ターボ・ウエストゲート・コントロール
インタークーラー
シリンダー休止システム
フロント・ミッドマウント・エンジンポジション
アクティブバルブ・エキゾースト・システム

性能

最高出力: 550PS (542bhp/405kW) / 6,500rpm
最大トルク: 700Nm (516 lb-ft) / 2,200~5,000rpm
リッターあたり出力: 138PS/ℓ (136bhp/ℓ)
加速: 0~60mph 加速: 4.3 秒
加速: 0~100km/h 加速: 4.5 秒
最高速度: 181mph/291km/h



燃料消費量 & エミッション

CO2 排出量 (NEDC 複合モード) : 269g/km*

WLTP

UK 複合モード (MPG) : 19.73*

EU 複合モード (ℓ/100km) : 14.32*

EU 複合モード (km/ℓ) : 6.98*

*目標値

トランスミッション & ドライブトレイン

9 速オートマチック・トランスミッション

エンジンマウント・ギアボックス

エレクトロニック・シフトバイワイヤ・コントロール・システム

軽量一体型カーボンファイバー・プロペラシャフト

エレクトロニック・アクティブセンター・トランスファーケース

エレクトロニック・リア・リミテッドスリップ・ディファレンシャル

アダプティブ・ドライブ・モード (オンロード × 4、オフロード × 2)

ステアリング

電動アシストラック & ピニオン・ステアリングシステム (EPAS)

ステアリング・レシオ、14.4 : 1 (速度感応型)

ロック・トゥ・ロック 2.6 回転

サスペンション

鋳造アルミニウム・サスペンション & サブフレーム・テクノロジー

フロント: 独立ダブル・ウィッシュボーン

リア: マルチリンク

アダプティブ・トリプルチャンバー・エアサスペンション

可変ライドハイト (最大 45mm 上昇または 50mm 下降)

エレクトロニック・アクティブ・アンチロール・コントロール・システム (48 ボルト eARC)

ホイール & タイヤ

22 インチ・アロイホイール

ホイールサイズ: フロント 10J x 22"、リア 11.5J x 22"

タイヤ: ピレリ P Zero、フロント 285/40 YR22、リア 325/35 YR22

タイヤ空気圧モニタリング・システム (TPMS)

ブレーキ

フロント: ベンチレーテッド・スチール製ブレーキディスク、Ø410mm、6 ピストン・アルミキャリパー

リア: ベンチレーテッド・スチール製ブレーキディスク、Ø390mm、スライディングピストン・アルミキャリパー

エレクトリック・パーキング・ブレーキ (EPB)

オートパーク・ブレーキホールド



アンチロック・ブレーキ・システム (ABS)
エレクトロニック・スタビリティ・コントロール (ESC)
トラクション・コントロール (TC)
エマージェンシー・ブレーキ・アシスト (EBA)
ロールオーバー・スタビリティ・コントロール (RSC)
ヒル・ディセント・コントロール (HDC)
ヒル・スタート・アシスト (HSA)

セーフティ

アダプティブ・クルーズコントロール (ACC)
スピード・リミッター
前方衝突警告 (FCW)
歩行者検出機能付き自動エマージェンシー・ブレーキ (AEB)
車線逸脱警告 (LDW)
レーンキープ・アシスト (LKA)
車線変更警告 (LCW)
リア・クロストラフィック警告 (RCT)
道路標識認識 (TSR)
ブラインドスポット警告 (BSW)
半ドア警告 (DOW)
エマージェンシー・コール (一部の市場)
エアバッグ (フロント、サイド、カーテン)
シートベルト・プリテンショナー & ステータス・インジケーター
ISOFIX チャイルドシート・アタッチメント (後席外側)

寸法

全長 : 5,039mm
全幅 (ボディ) : 1,998mm
全幅 (ミラー格納時) : 2,050mm
全幅 (ドアミラーを含む) : 2,220 mm
全高 : 1,680mm
ホイールベース : 3,060mm
燃料タンク容量 : 85 リットル
積載容量 : 632 リットル (フロア下収納スペース : +62 リットル)
重量 : 2,245kg 装備重量 (DIN)
重量配分 : 54% : 46% (フロント/リア)
牽引重量 : 2,700kg
アプローチ・アングル : 22.2° (最大ライドハイト時 : 25.7°)
ディパーチャー・アングル : 24.3°
(最大ライドハイト時 : 27.1°)
ブレークオーバー・アングル : 15.1° (最大ライドハイト時 : 18.8°)
渡河深さ : 500mm
最低地上高 : 190mm (最大ライドハイト時 : 235mm)



回転径: 12.4m(車両先端部)

標準装備:

フルグレイン「ケースネス」レザー・インテリアトリム*
アルカンターラ・ヘッドライニング&パノラマルーフ・ブラインド*
ピアノブラック・ウッドパネルトリム(センター・コンソール)
サテンクローム・ブライトウェア
フロントシート、12 ウェイ電動調整式
フロントシート&ドアミラー、3 ポジション・メモリー機能
リアシート、3 座席、40:20:40 分割可倒式
シートヒーター(フロント&リア)
電動格納式ドアミラー
自動防眩 & ヒーター付きドアミラー
キーレスエントリー
キーレス・スタート/ストップ・ボタン
3 ゾーン・オートマチック・エアコンディショナー
自動防眩ルームミラー
パワーウィンドウ
防音サイドガラス
ダブル・サンバイザー(フロントガラス&サイド・ウィンドウ)
照明付きパニティミラー
キャビン・カーテシーランプ
アンビエント・ライト(64 色、デュアルゾーン)
レインセンサー付きワイパー
電動式テールゲート
リアウィンドウ・デフロスター
視覚インジケータ付きのフロント&リア・パーキングセンサー
リアカメラを搭載した 360° カメラシステム
ヌバック・バイディング付きカーペット&カーペットマット
インテリア・ブライトウェア、サテンクローム
スポーツペダル、サテンクローム
ドアシル・プレート、アルマイト処理された'Aston Martin'ウイング
ステアリングホイール、スポーツ・デザイン
電動チルト・ステアリング/テレスコピック調整機能
フロント・センターアームレスト、左右、調整可能
バイ LED ヘッドライト
オートハイビーム(AHB)付き自動ヘッドライト
LED デイタイム・ランニングライト(DRL)
LED テールライト、レッド
LED センター・ハイマウント・ストップライト
LED リア・フォグランプ
アクティブ・リア・ブレーキライト
アプローチ照明



テクノロジー & オーディオ

12.3 インチ TFT ドライバー・インフォメーション・ディスプレイ

10.25 インチ TFT センター・ディスプレイ

アストンマーティン・プレミアム・オーディオシステム (800 ワット、14 スピーカー)*

AM/FM/DAB ラジオ

SiriusXM サテライト・ラジオ (米国/カナダのみ)

USB ポート (x4)

12V 充電ソケット (x3)

SD カードポート

オーディオ・ストリーミング機能付き Bluetooth スマートフォン接続機能

Apple CarPlay を介したスマートフォン・アプリ接続機能

ボイス・コントロール

サテライト・ナビゲーション・システム (HDD)

ロータリー・インフォテインメント・システム・インターフェイス

バッテリーコンディショナー・コネクション

アンビエント・ライト (64 色、デュアルゾーン)

* 標準仕様は地域によって異なる場合があります。

オプション仕様

インテリア

フルグレイン「ケースネス」レザーの内装トリム、幅広いカラーの選択肢を提供

フルグレイン「ケースネス」レザー & ウールフェルト・インテリアトリム

アルカンターラ・ルーフブラインド付きレザー・ヘッドライニング

カーペット & カーペットマット、カラーの選択肢を拡大

コントラスト・ステッチ

フロントシート、16 ウェイ電動調整式

ベンチレーション・シート (フロント & リア)

ステアリングホイール・ヒーター

ダブルトーン・ステアリングホイール

シート地: キルティング、パフォーレーション、ブローグから選択

シート・ロゴ: 刺繍またはレザーのエンボス加工にアストンマーティン・ウイングまたは DBX ロゴを選択可能

ダーク・サテンクローム・ブライトウェア

ダッシュパネル: ライトアッシュ・オープンポア

ダッシュパネル: ダークジルコート・オープンポア・ウッド

ダッシュパネル: ピアノ・アイボリーウッド

ダッシュパネル: 光沢フラックス・コンポジット

ダッシュパネル: グロスツイル・カーボンファイバー

ダッシュパネル: グロスブロンズ・メタルメッシュ

ダッシュパネル: ソリッド・クルミ材



エクステリア

22 インチ「Sport」デザイン・ホイール、3 種類の仕上げ
22 インチ「Ribbon」デザイン・ホイール、3 種類の仕上げ
オールシーズン&ウィンタータイヤ
カラー・ブレーキ・キャリパー(9 色から選択)
ペイントカラー、拡張カラーパレット
プライバシー・ガラス
グロスブラック・エクステリア
カーボンファイバー・エクステリア・パック
ボンネット・ブレード(仕上げの選択)
フェンダーパネル(仕上げの選択)
スモークグレー・リア・テールライト

機能

ジェスチャーコントロール機能付き電動式テールゲート
パークアシスト・システム
デザイナー・キー(ステンレス&ガラス)
タッチパッド・コントローラー
ガレージドア・オープナー
牽引バー

オプションのアクセサリーにつきましては、添付 8 をご覧ください。



添付 2

アストンマーティン DBX: デザイン

デザイン・ハイライト:

- 歴代および最新のアストンマーティン・スポーツカーのデザイン・エレメントを採用
- フレームレス・ドア、フラッシュサーフェイス化されたサイド・ウィンドウ、ドアエッジの後方に隠されたシール、スリムなドアシル・エリア
- 広々としたキャビン寸法により、クラス最高レベルのヘッドルームとレッグルームを実現
- 豪華なアルカンターラ・ローラー・ブラインドを備えたフルレンジ・パノラマガラスルーフ
- 人間工学に基づいたポジショニングにより、すべての乗員に優れた視界を提供
- “Bridge of Weir Leather”から調達したラグジュアリーなフルグレイン・レザー
- 業界初の 80%天然ウールブレンドを内装に使用
- 初採用されるレザーカバー・ナチュラル・エアスピーカーグリルが、豪華なインテリアと高度なテクノロジーをシームレスに統合

チーフ・クリエイティブ・オフィサーのマレク・ライクマンが率いるアストンマーティンのデザイン・チームは、従来のエレガンスの常識を超える斬新な手法で、彫刻的で流れるようなラインを備えた DBX のエクステリア・デザインを完成させました。DBX のファストバックルックは、アストンマーティンのスポーツカーで見られるように、視覚的な重量を車両後方に導きますが、優れた乗降性も同時に実現しています。その一方で、長いホイールベースは、広々としたインテリア・スペースを提供するだけでなく、より低く滑らかなルーフラインを可能にし、全体として優雅なフォルムを描き出しています。

エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼チーフ・クリエイティブ・オフィサーのマレク・ライヒマンは、次のように述べています。「DBX は、美しさやパフォーマンスを一切犠牲にすることなく、高い実用性も備えています。このニューモデルは、常に美しさを追求する、アストンマーティンのデザイン言語に適用されるプロポーションに従ってデザインされています。その結果、エレガントでありながらも機能的、妥協のない美しさを表現しています。エルゴノミクスを徹底的に磨き上げたことにより、車内には簡単にアクセス可能で、快適に過ごせるキャビンが用意されています。安全性と安心感を提供するための取り組みにより、DBX の乗員は、快適なドライビング体験を満喫することができるでしょう。DBX は、SUV セグメントを再定義するクルマです。」

DBX のデザインは、ブランドの長い歴史を反映したクラシックで美しいクルマを連想させる、アストンマーティン・グリルから始まります。ボンネット・ブレードは、サテンクロームやカーボンファイバーなど、様々なカラー



や素材を設定することができます。グリルの両側には、印象的なデイトタイム・ランニングライト(DRL)が装着されています。これらは、ターン・インジケーターとしても機能するだけでなく、空力ダクトを取り囲むように設置されています。DRLの上には、バイ LED ヘッドライトが設置され、お馴染みのアストンマーティンのフロントフェイスを新たに解釈したデザインが採用されています。

ボンネットには、2つの機能を果たす大胆なベントが2か所に設けられています。これにより、ボンネット下からの空気圧を緩和することで、フロントエンドのリフトが減少し、ターボチャージャー・エンジンの冷却にも貢献しています。エアベントは、DBX のサイドパネルにも設置され、車両側面の空気抵抗を最小限に抑えます。DBX のサイドボディの彫刻的な造形は、SUV でよく見られるフラットな形状とは一線を画すもので、非常に洗練されたエクステリアを強調しています。

DBX の滑らかで洗練されたスタイルは、ボディとフラッシュサーフェイス化されたサイド・ウィンドウにも見て取ることができます。このデザイン方程式の最初のハイライトはフレームレス・ドアで、ドアエッジの後方に巧みに隠されたシールと組み合わせることにより、ガラス面と金属面が美しく一体化されると同時に、キャビンを通る明るい光で満たします。B ピラーはガラス仕上げとなっており、サイド・ウィンドウは、遮るもののない一枚のガラスのように見えます。ドアの下部では、スリムなドアシル・エリアにより、乗員の乗降性が向上し、乗員のスーツやドレスの裾が汚れるリスクを低減しています。

リアエンドは、力強い造形とシグネチャー・ライトを特徴としています。リア・ウィンドウ下部に設置されたフリップは、極限まで走行性能を追求したアストンマーティン Vantage からインスピレーションを得ています。ルーフライン後端の電動式テールゲートの上部には、エアを車両後方に流し、部分的なダウンフォースを発生させるスポイラーが設置されています。ツインエキゾースト・システムによって、このクルマの爽快なキャラクターが完成しています。

電動式テールゲートを開くと、632 リットルの実用的で大きなラゲッジ・コンパートメントにアクセスすることができます。リアシートは 40:20:40 の分割可倒式で、積載スペースを柔軟に活用することが可能です。また、フロア下には 62 リットルの追加の収納スペースも用意されています。ラゲッジ・コンパートメントへのアクセス性にも細心の注意が払われました。その結果、非常に浅いシルを備えた広い開口部が実現しています。ラゲッジ・コンパートメント内部も、使い勝手の良い直線的なサイドパネルにより、効率的に荷物を積み込むことができます。積載時には、コンパートメント内に設置されたエアサスペンションのスイッチを押すことによって、車高を下げるすることができます。また、トレーラーを連結する際に、トウボールを下げることもできます。



DBX の発売時には、2 種類のアロイ・ホイールが用意されています。どちらも 22 インチで、DBX の圧倒的な存在感を演出しています。“Sport”ホイールは美しい V スポーク・デザインで、オプションの“Ribbon”アロイ・ホイールは、流線形の美しいスポークを特徴としています。オプション設定されるこのホイールは、雄鷲が枝角を立てて戦う様子からインスピレーションを得たもので、精巧なダイヤモンド旋削仕上げを施し、コントラストカラー・メタルを織り交ぜたデザインを備えています。

DBX の標準設定では、タイヤの上部とホイールアーチの間かなりのスペースが設定され、意図的に高いライドハイトを強調しています。この意図的なスペースの設定は、オンロード/オフロードを問わず、高い走破力を見る者に連想させます。

マレク・ライヒマンは、次のように述べています。「私たちは、スポーツカーのスタイリングと多目的な 5 人乗りのクルマのプロポーションとメカニカル・レイアウトを備えたパッケージを、非常に美しい方法で実現することに成功しました。」

DBX は、インテリア・デザインも一切の妥協はありません。特に、人間工学とインテリア・スペースに関しては、アストンマーティンの他のどのモデルよりも、多くの研究が行われました。DBX では、乗員が容易に乗り降りできるように、広く快適なキャビンの内側から設計しています。

これは、専用のボディを使用することと、DBX の特定のニーズに合わせて車両のサイズとプロポーションを調整した結果として実現しました。長いホイールベースにより、デザイン・チームは、流れるような低いルーフラインを維持しながら、キャビンスペースを最適化しています。DBX では、99 パーセントの男性から 5 パーセントの女性まで、あらゆる体形のドライバーがフロントボンネット全体を明確に視認することができます。このポジションを定義するために、6 か月以上の歳月が費やされました。その目標は、SUV ならではの見晴らしの良いポジションによって、自信を持ってクルマを運転できるようにすることと、アストンマーティンならではのスポーティなドライビング・フィールを融合することでした。

アストンマーティン・スポーツカーを彷彿とさせるデザイン哲学は、DBX のインテリアの他の領域にも見ることができます。例えば、ステアリングホイールには、新設計されたスイッチを備えた、新しいデザインが採用されています。9 速オートマチック・トランスミッションをマニュアル操作するための大きなパドルは、美しく、手触りも良く、通常の SUV モデルとは一線を画しています。シートは DB11 のシートをベースにしていますが、運転席と助手席には、個別のアームレストが装備され、完全にパーソナライズされたシートポジションに調整することが可能です。DBX は、スポーツカーと同等レベルの長距離走行における快適性が確保されています。スリムなフレームによるスポーツカーのシートを採用することによって、SUV モデルにとって



重要な要件となる、リアシート乗員のスペースも最大化されています。クラス最高レベルのリア・ヘッドルームは 1,016mm、リア・レッグルームは 1,060mm で、足をフロントシート下に入れるための十分なスペースが確保されています。

ダッシュボードは、DBX の広々としてスペース感と豪華さを強調しています。各スイッチやダイヤル類は、アストンマーティン・ブランドが設置した Female Advisory Board(女性諮問委員会)や、様々な富裕層に関するカスタマー・クリニックの専門家の意見を参考にしながら、広範囲なテストを繰り返して、運転席に座った瞬間からすぐに親しみを感じられるように、慎重に配置されています。広々としたダッシュボードには、大型 TFT ディスプレイが設置されています。このディスプレイは、その印象的なサイズにもかかわらず、高度なテクノロジーによって、エレガントなインテリアの雰囲気を損なうことなく、シームレスに統合されています。SUV モデルにとって重要な収納スペースに関しても、DBX のインテリアに調和する形で組み込まれています。その傑出した機能の一例は、ブリッジタイプのセンター・コンソールです。インテリアに浮かんでいるように見えるこのコンソールは、見た目にもエレガントであるばかりでなく、その下の収納スペースに、ハンドバッグや 1.5ℓ サイズのペットボトルといった大きなアイテムを置くことが可能です。これにより、ドライバーは、貴重品を助手席に置いたり、汚れたフロアに置いたりすることなく、すぐ手が届く場所に収納しておくことができます。

リアシートは、設計プロセスにおいて特に焦点が当てられました。デザイン・チームは、適度な“包まれ感”を得られるようにリアシートを設計しました。しかし、そのようなシートでは、リアシート乗員がフロントシートに寄りかかるようにして前方を見る必要があります。DBX では、“スタジアム”シートと呼ばれるシートアレンジを採用することによって、この課題に対応しています。お子様のニーズも幅広く考慮されています。DBX の設計段階において、お子様のグループがアストンマーティンのデザインスタジオに招待され、クルマへの乗り降りや座り心地を実際に体験して評価してもらい、その内容をリアシートのデザインに反映させています。

このような広範囲な研究開発の結果、クラス最高レベルのフロントおよびリアのレッグルームが実現し、ルーフ全長に及ぶパノラマガラス・サンルーフと広々としたサイド・ウィンドウによる、開放感に溢れた室内空間が生み出されました。この絶妙なパッケージングと、DB11 から派生したスペース効率の良いフロントスポーツシートの組み合わせによって、リアシートには、ライバルの SUV を超える膝および足元のスペースが確保されています。DBX のどのシートに座っても、明るく開放的なスペースから、リラックスして外の世界を眺めることができます。



DBX の室内には、自然な素材が数多く採用されています。アストンマーティンのセカンドセンチュリープラン導入後に発表された全てのクルマがそうであったように、DBX でも本物の価値を備えた素材を使用することに重点を置いています。DBX は、アストンマーティンと長い協力関係にあるスコットランドの“Bridge of Weir Leather”から調達したフルグレインのケースネス・レザーを標準装備しています。このレザーには、5 種類のカラーが用意され、シートのブローイング、パフォーレーション、キルティング・パターンに各種オプションが設定されています。キャビン内のレザーは、3 種類のカラーを選択して、キャビン全体の色をカスタマイズすることができます。

今回初めて、ナチュラルエア・スピーカー・グリルのカバーにもレザーが採用されています。ここでも、キャビンの現代的なデザインに、テクノロジーをシームレスに融合するというテーマが貫かれています。

DBX は、前述のケースネス・フルグレインレザーと 80%の天然ウールを組みわせて、魅力的なインテリアを創出しています。天然ウールの素材は、高級オーストラリア産ラムウールのカード糸で作られ、合成繊維と混合することで、豪華なフェルトのような生地に仕上がっています。これは、ウールの含有量が非常に高いという点で、初の自動車用ファブリックであり、ウールマークのウールリッチ・ブレンド認証を取得しています。このウールは、環境に優しいだけでなく、非常に耐久性があり、自然の撥水性も備えています。

そのような素材やその他の新しい素材は、最近のモーターショーでアストンマーティン・ラゴンダが示したいくつかの生産型インテリア・コンセプトにも反映されています。他の魅力的なオプションには、センター・コンソールおよびドアトリム用の様々な素材が含まれます。これらには、クルミなどの無垢材から機械加工されたコンポーネントが含まれ、素晴らしい触感とともに、キャビンに暖かさを与えます。従来のカーボンファイバーの代わりに、ブロンズメッシュや亜麻と同じ植物由来の亜麻複合材など、様々な大胆でモダンな新しい装飾パネルを指定することも可能です。

その中でも、最も印象的な素材の活用方法は、ルーフに採用されたアプリケーションです。豪華なヘッドライニングは、アルカンターラを標準としています。DBX は、ガラスルーフ用の完全なアルカンターラ・ローラー・ブラインドを備えた最初の車両であり、ブラインドを閉じるとヘッドライニング全体がインテリアの色と素材と見事に調和します。このブラインドの非常に浅いスタック高は、美しいシルエットと十分なヘッドルームの両方に貢献しています。

どの仕様を選択しても、DBX は、200 時間以上に及ぶ手縫い、ハンドクラフトによるラグジュアリーな雰囲気を楽しむことができます。お客様は、35 のカラーと素材の選択肢から構成される広範囲なパレットと、インテリア用の 2 つの異なる光沢仕上げから選択することができます。さらに、ビスポーク・パーソナライ



ゼーション・サービスである「Q by Aston Martin」を利用することによって、お客様のニーズを反映した仕様にカスタマイズすることも可能です。

アストンマーティン・デザイン・ディレクターのマイルス・ナンバーガーは、次のように述べています。「DBX には、すべてのアストンマーティンのインテリアに備わっているラグジュアリーな雰囲気が出されていますが、優れた視認性、広々とした開放感も同時に備え、日常ユースにも対応しています。DBX は、インテリアに採用された新しい素材を含め、SUV デザインの新境地を切り開いています。」



添付 3

アストンマーティン DBX: ドライビング・ダイナミクス

ドライビング・ダイナミクス・ハイライト:

- 電子制御センターおよびリア・ディファレンシャルを採用する新しい4輪駆動システムは、運転状況にかかわらず、トルクを精妙に配分
- ライドハイトとスプリングレートにアジャスタブル機構を採用する新しいアダプティブ・トリプルチャンバー・エアサスペンションは、多種多様な場面に対応するサスペンション・パッケージを提供
- 新しい48V エレクトロニック・アンチロール・コントロール・システムが、スポーツカーに匹敵するグリップとハンドリングを実現
- 新しい“トレイン”ドライビング・モードにより、ドライバーはオフロードでも自信を持って走行可能
- 専用開発のクイックレシオ・ステアリング・システムが、機敏でレスポンスの良いステアリング特性に寄与
- 新しいピレリ P-Zero タイヤがあらゆる運転環境に対応
- ハイレベルなグリップ性能、運転する歓びを提供するハンドリング
- 新しいエレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC)システムが、統合型スタビリティ・コントロールを提供

ラグジュアリーSUVとしてデビューする新型アストンマーティン DBX は、どのような路面でもドライバーに最上級の自信を与えることを目的に開発されています。アストンマーティン・ウイング・エンブレムを装着したモデルとして、たとえ SUV であっても、同ブランドのアイコン的スポーツカーに迫るダイナミクスとエモーションを提供するポテンシャルを備えていなければなりません。

専用開発のオールアルミニウム・ボディ構造は、多用途な SUV の基本骨格に最適であり、圧倒的な剛性により、サスペンションとドライブトレインがその能力をフルに発揮できる基礎としても完璧に機能します。フロント・ダブルウィッシュボーン・スプリットリンク・サスペンションとリア・マルチリンク・サスペンションが圧倒的な精密性とともにあらゆる路面に対応できるのは、アルミニウム構造と鋳造アルミニウム・サスペンション・マウントによって、驚異的な剛性が確保されているからです。ボディ構造と同様、DBX 用に専用開発されたクイックレシオ・ステアリング・システムも、剛性の高い構造を最大限に活かして、正確極まりないフィードバックを提供、ドライバーの自信を高めながら、レスポンスなコントロールを実現します。

このような基本骨格に加えて、最新テクノロジーを惜しげなく応用、DBX にふさわしい多様性を約束しています。アダプティブ・トリプルチャンバー・エアサスペンションのおかげで、ライドハイトを 45mm 上昇させたり、50mm 下降させたりすることができ、駐車時や乗降時のアクセス性が高められています。ライドハイ



トを上げた状態では、アプローチ・アングルが 22.2° から 25.7° に増加し、ディパーチャー・アングルも 24.3° から 27.1° に引き上げられ、ブレークオーバー・アングルも 15.1° から 18.8° に増大します。これにより、DBX は、歴代アストンマーティンが足を踏み入れようとしなかった悪路も走行できるだけでなく、過酷なオフロード環境においても、そのポテンシャルを遺憾なく発揮することができます。

可変ライドハイト以外のニュー・テクノロジーとしては、48V エレクトロニック・アンチロール・コントロール (eARC) システムが挙げられます。eARC システムが採用された結果、従来型のアンチロールバー (スタビライザー) は姿を消しただけでなく、スポーツカーのダイナミズムとラグジュアリーSUV に期待される上質な乗り心地が提供されています。もっともアグレッシブなセットアップを選択すると、DB11 と同等レベルまでロールを低減させることが可能です。その一方で、eARC は、各ホイールのトラベルを個別制御することにより、最大限のストローク自由度を約束します。これは、バンプを通過する時や悪路から乗員を隔離する際に大きなアドバンテージをもたらすばかりか、各ホイールに激しい動きが要求される過酷なオフロードを走破する時にもアドバンテージを提供します。

eARC システムと 14.4:1 のクイックレシオを持つステアリング・システムが組み合わされた結果、DBX は、スポーツカーと同等の俊敏性を備えています。ロング・ホイールベースながらも、このステアリング・システムのおかげで、エキサイティングだけでなく、自信さえ感じさせるダイナミズムを実現しています。さらに、ピレリと共同開発した 3 種類のタイヤも、ダイナミック・フィードに寄与しています。なお、ピレリは、アストンマーティンの公式テクニカル・パートナーです。標準装備される P-Zero タイヤの他、オールシーズン・タイヤの Scorpion Zero や、Scorpion Winter タイヤが用意されています。いずれのタイヤを選んでも、DBX は、オンロード、オフロードを問わず、その能力を余すところなく発揮することが可能です。

もちろん、DBX ドライバーの自信に寄与するのは、サスペンションだけではなく、ステアリングやタイヤも大きく貢献しています。4 輪駆動システムは、あくまでもスムーズに V8 ツインターボ・パワーを 4 つのホイールに伝達します。電子制御アクティブ・センター・トランスファー・ケースは、その時々トラクション要件に応じて、フロントとリアにトルクを分配します。フロントおよびリア・アクスル間のトルクスプリットは、運転条件やドライブ・モードに応じて、刻一刻と変化します。アクティブ・センター・トランスファー・ケースは、フロントとリアに 47:53 でトルクを配分するだけでなく、状況によっては、リアにほぼ 100% のトルクを伝達することもあります。左右リアホイール間のトルクスプリットは、電子制御リミテッド・スリップ・ディファレンシャルにより、トラクションまたはダイナミクスを最大限に発揮するよう、状況に応じて適正配分されます。

アクティブ・ディファレンシャルに加えて、ブレーキングによるトルク・ベクタリングも実行されます。フロントに $\phi 410 \times 38\text{mm}$ 溝付きベンチレーテッド・スチール・ディスクと 6 ピストン・アルミニウム・キャリパー、リアに



φ390×32mm ディスクを装着する DBX は、DBS Superleggera と同等の制動パフォーマンスを発揮します。コーナー進入時、必要に応じて各ホイールに自動的に個別制動をかけ、俊敏性を高めます。

歴代アストンマーティンに採用されることがない、ヒル・ディセント・コントロール(HDC)が装着されている点も、DBX が SUV モデルであることを明確に示しています。HDC は、エンジンブレーキとアンチロック・ブレーキ・システム(ABS)を協調制御し、傾斜がきつく、滑りやすい下り坂でも安全かつ節度ある走りを実現します。DBX 専用に進化した新しいエレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC)システムには、ロールオーバー・スタビリティ・コントロールも含まれます。ボッシュ製のこの新しい ESC システムは、さまざまなデータを収集する中核 ECU として機能し、すべての状況下でブレーキング・パフォーマンスを最適化します。

DBX のドライビング・モードには、6 種類の設定が用意されています。アクティブ・ディファレンシャル、アダプティブ・エアサスペンション、eARC、ESC などの設定を変更、特定の状況にクルマをテラーメイドすることができます。Sportと Sport+は、オンロード・セットアップであり、オフロード走行を主眼に置くDBXには、これに加えて、Terrain と Terrain+のふたつの新しいモードが設定されています。明確な意図を持った 4 種類のモードに加えて、さまざまな要件に合わせてフルにカスタマイズできるセットアップが設定されています。各ドライバーのセットアップは、キーと連動して記憶されるため、複数のドライバーが独自設定で走行することができます。

DBX は、深さ 500mm の河川を渡河できる能力も備えています。こうした渡河性能を確保するため、例えば、エレクトロニック・リア・ディファレンシャルには、ブリーザーパイプが施されています。けん引してきたトレーラーからボートを水面に降ろす際、後退しながら湖畔や岸辺に接近しなければならず、リアに特化した渡河能力が不可欠です。

DBX は、アストンマーティンのモデルラインナップに新たなダイナミクスを追加しています。このため、ピークル・アトリビュート・エンジニアリング担当チーフエンジニアのマット・ベッカー率いるチームは、通常のテストだけでなく、これまでとは異なるダイナミックおよび耐久テストを計画・実施しなければなりません。DBX は、プロトタイプ時代にニュルブルクリンクで 8,000km に及ぶテストに臨み、ブレーキおよびタイヤ開発を行いました。当然のことながら、さまざまな場所に出向いてオフロード・テストも実施されました。そのひとつが、WRC ラリーGB の名物スペシャルステージ、ウォルターズ・アリーナです。このステージは、DBX が製作される予定の南ウェールズのセント・アサンに近い場所に存在します。



DBX は、非常に幅広いドライビング・エクスペリエンスを提供します。そして、圧倒的なグリップを介して、ごく自然にファン・トゥ・ドライブと人車一体感も提供します。クイックレシオ・ステアリングホイールが、SUVとは思えない俊敏性を約束、その背後で響くサウンドトラックは、まさにスポーツカーのそれであり、DBXのストレート・パフォーマンスと見事に一致しています。河川を渡り、悪路を走破する姿は、これまでのアストンマーティンとは一線を画しています。さらに、最良のグランドツアラーにも匹敵する洗練された乗り心地で長距離走行をこなし、高いレベルの日常性も備えています。DBX とは、アストンマーティン史上もっとも自信に溢れ、もっとも多様な能力を持つモデルであり、アストンマーティンならではのクオリティはもちろん、新たな資質さえ備えています。

ベッカーは、次のように語っています。「テスト中、舗装路で確認したラテラル・グリップ・レベルは、それこそ信じられないものでした。サーキットおよびオンロード・パフォーマンスは、それこそ SUV の限界のその先を見せてくれるレベルに達しており、多くの場面でアストンマーティン・スポーツカーと同等の走りを示しました。入念にデザインしたサスペンションと大きなホイール・トラベルのおかげで、オフロード・パフォーマンスは、我々の想定を超えていました。」



添付 4

アストンマーティン DBX: 車載テクノロジーとエンターテインメント

車載テクノロジーとエンターテインメント・ハイライト:

- アストン・マーティン・グラフィックを採用する最新世代インフォテインメント・システム。テクニカル・パートナー、ダイムラーAGとの共同開発
- 各種モバイルフォンの OS に対応
- 12.3 インチ TFT 高解像度インストルメント・クラスター・ディスプレイ
- インフォテインメント・システム用の 10.25 インチ TFT 高解像度センター・ディスプレイ
- キーレスエントリー & スタート
- USB ポートと 12V パワーソケット(フロントおよびリア)
- 360° サラウンドカメラが安全な取り回し性を実現
- 64 色、デュアルゾーン・アンビエント・ライト・システム

テクノロジーは、モダン SUV のカギであると同時に、キーレスで DBX に乗り込み、キーレスでエンジンを始動した時のカギでもあります。DBX は、お客様が期待するすべての機能を備えています。DBX では、あくまでエレガントに、すでに何度も繰り返してきた手法で最新の機能が提供されています。ハードウェアの中でとりわけ目を引くのが、2 つの高解像度 TFT ディスプレイです。このうちひとつが、12.3 インチ・スクリーンを備えたデジタル・インストルメント・クラスターです。ダイヤルのグラフィックは、非常にユニークな個性を放っています。これはアストンマーティンが独自にデザインしたもので、エレガントなレイアウトが歴代アストンマーティン・スポーツカーを彷彿とさせます。

Sport+モードでは、レブリミットが近づくとレブカウンター全体が点滅し、シフトアップ・タイミングであることを示します。ドライバーは、インストルメント・クラスターにミニマップを呼び出し、安全かつ簡単にナビゲーションを利用することもできます。サテライト・ナビゲーションのメイン・ディスプレイは、センター・ダッシュパネルに一体化された第 2 のスクリーンです。超ワイド、高解像度の 10.25 インチ TFT スクリーンには、アストンマーティンのテクニカル・パートナーであるダイムラーAG のテクノロジーが導入されています。

DBX は、モバイルフォンの OS にも対応しており、スマートフォンと簡単にペアリングすることができます。Bluetooth 経由でオーディオ・ストリーミングを楽しんだり、FM/AM ラジオ以外に DAB や SiriusXM サテライトラジオ(米国およびカナダのみ)を視聴したりする機能が標準装備され、すべてのオーディオ・エンターテインメント・ニーズに応えています。



標準オーディオ・システムは、ハーマン/サムスンと共同開発した 800W アンプを中核としています。アストンマーティンとしては異例のメーカー選択ですが、入念なテストの末にセットアップした 14 個のスピーカーから奏でられるサウンドに耽る歓びも、DBX の隠れた魅力のひとつです。

USB ポートと 12V パワーソケットは、フロントとリアに用意されており、移動中に各種デバイスの充電を完了することもできます。アンビエント・ライト・システムは、64 色を選択することが可能で、フロントとリアを個別に設定、それぞれ独自の雰囲気演出することができます。リアシート・エンターテインメントを充実させるため、タブレット・ホルダーを専用開発してオプション設定し、リアシート乗員が自らのデバイスで独自のエンターテインメントを楽しめるよう工夫しています。

リアシート乗員は、3 ゾーン・空調コントロール・システムを介して、自分だけの快適な環境を作ることができます。フロントだけでなく、リアにも HVAC システムのキャパシティブ・スイッチをレイアウトし、イグニッションが OFF の時はパネルが完全にブラックアウトするエレガントな演出を採用しています。

DBX には、駐車や取り回しを支援する 360° サラウンドカメラ・システムとフロント/リア・パーキングセンサーが装着されています。駐車スペースの大きさを評価したうえで自動駐車するパークアシスト・システムもオプション設定されています。リバースカメラが作動すると、スクリーンには車両後方のイメージが鮮明に表示されます。このカメラは、使用していない時は美しく収納され、必要な時だけ展開します。



添付 5

アストンマーティン DBX: ボディ構造と安全性

エンジニアリング・ハイライト:

- アストンマーティン・スポーツカーから応用され、SUV 用に発展進化したボンド接着アルミニウム・ボディ構造
- 軽量性と剛性を両立させるボディ構造が、力強く安定したプラットフォームを提供
- 軽量 NVH 素材による静粛で洗練されたキャビン環境
- スポーツカー由来の 1 ピース・カーボンファイバー・プロペラシャフト・テクノロジー
- 数多くのアクティブ・セーフティ機能を標準装備

アストンマーティンは、ボンド接着アルミニウム・ボディ構造の先駆的メーカーとして、数々のスポーツカーをこの世に送り出してきました。この知識と経験を存分に活かして、DBX シャシーを専用開発、スポーツカーと同様、最新ラグジュアリーSUV でも、軽量性と剛性というふたつのアドバンテージを高レベルでバランスさせることに成功しました。

完全に新開発したオールアルミニウム・ボディ構造を作り上げるため、アストンマーティン・エンジニアリング・チームとデザイン・チームが緊密に協力し、それぞれの目標を達成しました。ホイールベース、オーバーハング、ドア長、キャノピーの関係など基本的な技術要件は、開発当初からテラーメイドされ、デザイナーの望むプロポーションとパッケージングの確立に大いに貢献しました。新たな構造を模索した結果、重要部位の剛性を最大限に高めることができたため、最良のダイナミクスを実現しつつ、軽量構造が持つ俊敏性というアドバンテージを追求することに成功しました。

初期段階からディテールデザインまで考慮していたことを表す好例は、ブレーキの冷却です。フレッシュエアを取り込むダクト・セクションは、車両の構造部材の一部としてデザインされています。シャシーには、このダクトと呼応する形状が施されていて、強度を確保しながら、素材の節約とフレッシュエア取り回しを改善しています。

エンジニアとデザイナーが調和して作業することにより、アストンマーティン史上最高のボディが完成しました。ヘッドラインのねじれ剛性は非常に秀逸で、さらに主要なハードポイントでは、ライバルを凌駕する剛性が確保されています。そのポイントとは、例えば、エンジンやサスペンションの固定ポイントであり、荷重マネジメントの質が向上、ダイナミック・クオリティが必然的に引き上げられるとともに、ブッシュをソフトに



する手法も可能になりました。これにより、洗練度が上昇し、あらゆる状況下で質の高いキャビン環境が実現しています。

エンジニアリングの観点からすると、洗練度とは、HVH の改善を意味しています。NVH 対策と素材の選択は、DBX プロジェクト立ち上げの時から重要課題に位置づけられていました。アストンマーティンとして初めて、バルクヘッドを二重にするダブルスキン・コンセプトを採用し、エンジンベイとキャビン間のノイズ隔離構造として機能させています。また、新しいピレリ P-Zero タイヤは、ノイズ軽減テクノロジーに基づいて、DBX 向けに専用開発されています。

DBX のボディ構造は、大型鋳造パネルと、非常に高い剛性を誇る押出成形コンポーネントを組み合わせで作られています。剛性と堅牢性がともに高いこの構造を実現するには、シール箇所を減らすと同時に、NVH 素材の数も低減させる必要があります。また、調和の取れたデザイン・コンセプトのおかげで、ボディパネル点数も減らされています。これにより、接着箇所も少なくなり、自然と洗練度が向上します。ここでも、NVH 素材点数の低減が図られました。

ホイールアーチ・ライナーとアンダーフロア・プロテクション用素材の選択にも入念な配慮をして、何ら素材を追加せずにタイヤノイズを最小限に抑えています。さらに、トランスミッション・トンネルは、通常はトリムのみで洗練度を実現する箇所ですが、トンネルとトリムの調和を図ることで、両者のコラボレーションが最大限に活かされています。この結果、トリムが少なく、シンプルで軽量のトランスミッション・トンネルが仕上がりました。トランスミッション系には、シングルピース・カーボンファイバー・プロペラシャフトを装着し、洗練度をいっそう高めています。通常は 2 ピース・コンポーネントが使われることが多いものの、このソリューションでは、センターベアリングから余計なエネルギーがフロアパンに伝達されるおそれがあります。

DBX の包括的 NVH コンセプトは、DBS Superleggera に応用されたスーパーレグジェーラ・コンセプトとよく似ています。根本から NVH 対策を施し、追加トリム点数を減らした結果、NVH パッケージの重量は 30kg にすぎません。この軽量化は、ダイナミクスはもちろん、低燃費にも貢献し、DBX の装備重量は 2,245kg に抑えられ、多数の標準装備を採用しながらも、セグメント最軽量にランクされています。

安全性は、アストンマーティン新型 SUV の最重要項目のひとつであり、開発の全段階を通じて乗員保護構造がしっかりと確保されました。各種パッシブ・セーフティ・アイテムに加えて、広範なアクティブ・セーフティ装備が標準採用されています。マルチプル・フロント・エアバッグやサイド・エアバッグ、あるいはカーテン・エアバッグは、もはや当然の装備と言えるでしょう。また、チャイルドシート装着用 ISOFIX アンカーも



標準装備しています。一方、アダプティブ・クルーズコントロールやレーンキープ・アシストは、アストンマーティン初の装備です。歩行者感知システム付オートマチック・エマージェンシー・ブレーキも搭載しています。

ドライバーがステアリングとアクセルをコントロールするという運転操作の基本は変わらないものの、道路標識認識機能や車線逸脱警告、リア・クロストラフィック警告、ブラインドスポット警告が機能して、クルマによる移動の安全性を最大限に高めます。

ビークル・ライン・ディレクターのアンディ・ハスラムは、DBX について、次のように語っています。「エンジニアリング・チームが採用した斬新なアプローチにより、クラスのベンチマークとなるボディ構造が完成しただけでなく、アストンマーティンは新たな一歩を踏み出すことにもなりました。社内のチームワークを高めて、デザイン、ダイナミクス、NVH のすべてを満たすソリューションが開発されました。それにより、アストンマーティン史上最高のボディ構造の実現に成功しました。」

「このモデルは、英国流技術革新の粋を極めるもので、ライバルよりも全長を抑えながら、インテリア・スペース、収納スペース、ラグジュアリーでユニークなプロポーションを達成しています。デザイン部門と R&D 部門が協力して、クラスをリードする重量配分特性を実現し、ライバルを凌駕する俊敏性も実現しています。それにより、日常的な使い勝手と真のアストンマーティン・スポーツカー・キャラクターを両立させる 1 台に仕上がっています。」



添付 6

アストンマーティン DBX: エアロダイナミクス

エアロダイナミクス・ハイライト:

- 固定タイプのリアスポイラーを採用することで、リアの空力特性と美しい外観を両立
- 新しい DRL ダクトが抗力を軽減し、リアリフトを削減
- DB6 をトレーラーに積載した状態で CFD テストプロセスを実施
- コンピューターを使用した空力音響学によってエアロダイナミクスを改善
- アストンマーティン史上最高のアンダートレイ・システムを構築するフラットなフロア

DBX のエレガントなデザインは、純粹に美しいというだけでなく、スポーツカーで鍛え上げられた空力特性が、この SUV モデルにもフィードバックされています。アストンマーティン Valkyrie は、ダウンフォースを念頭に置いて設計されていますが、DBX のエアロダイナミクスは、主に空気抵抗の削減、空力バランス、音響性能の改善、冷却用エアの効率的な使用に焦点が当てられています。

DBX を開発する過程で、エアロダイナミクス部門は過去最高の先進的な風洞モデルを作成しました。この 40%スケールモデルは、アルミニウムシャーシ、カーボンファイバー・ホイール、3D プリントされた外装ボディなど、高度な製作方法と素材を使用していました。これにより、モデルをモジュール化することが可能になり、コンポーネントの導入または変更を通じて、非常に迅速な開発が可能になりました。

最大のエアロダイナミクス機能は、外からは見えないものです。DBX のフロアは完全にフラットで、アストンマーティンがこれまでに製造したクルマの中で、最も優れたアンダートレイ・システムの 1 つを備えています。これによって、目標としていた Cd 値を達成し、最高速度は 291km/h にも達します。アンダートレイは、車両後部のメカニカルパーツの冷却にも重要な役割を果たしています。エンジニアは、小さなタブを戦略的に配置することにより、高エネルギーの冷却用エアフローを、リア・ディファレンシャルといったコンポーネントに向けることが可能になりました。さらに、このアンダートレイは風切り音の低減にも重要な役割を果たし、キャビン内の静粛性を向上し、オフロードではアンダーボディのコンポーネントを保護します。

エアロダイナミクスのハイライトの 1 つは、人目を引くフロント DRL ダクトです。これらは、ホイールアーチを通り、フロントタイヤの周り流れ、ホイールアーチ後方のベントへと繋がる、高速なエアフローを生み出します。この“エアカーテン”は、エアの流れを車両側面に沿って流すことによって、抗力を減らします。



リアエンドにおけるハイライトは、ハイレベルなリア・ウイングです。これは、部分的なダウンフォースを提供するだけでなく、車両後方にエアを導く重要な役割を果たします。パノラマガラスルーフ上のエアは、リア・ウィンドウを通過することによって、ウィンドウから効率的に水滴を除去します。エアがウィンドウのベースに到達すると、Vantage からヒントを得た“フリップ”と呼ばれるスポイラーによって、車両後方へと導かれます。

エアロダイナミクス・チームは、ボディの汚れに関しても、注意深く設計を行っています。DBX は、多種多様な地形を走行することが可能であるため、路面の土が車体に付着する可能性が最も高い場所を確認することが重要でした。これらの調査結果により、アストンマーティン初の展開式リアビュー・カメラが採用されることになりました。

DBX では、空力性能を向上させるために計算流体力学 (CFD) 解析が広く使用されていますが、これはエクステリアだけに留まらず、キャビンにも適用されています。例えば、室内の HVAC (空調コントロール) のダクト・システムも CFD を使用してテストされ、キャビン全体のエアの配分が最適化され、前席と後席にバランスの取れたエアフローが生み出されるようになっています。CFD は、トレーラーを牽引する際の DBX の空力効果のモデリングにも使用されました。ここでは、1960 年代の DB6 を、トレーラーに積載した状態で気流のモデリングが実施されました。これは、業界では非常に珍しいシナリオと言えます。

また、風切り音とロードノイズをモデリングするために、コンピューター制御の空力音響ソフトウェアも利用されました。アストンマーティンは、この高価で複雑な研究手法を採用する数少ない企業の 1 つであり、空力乱流によって発生するノイズを理解することにより、DBX の室内環境をより洗練させることに成功しています。

エアロダイナミクスの最後のハイライトは、車両に入るエアフローの利用です。DBX の開発の初期段階から、エアロダイナミクスと設計部門が緊密に連携することにより、象徴的なフロントグリルのエアダクトの設計、形状、開口部に影響を与えて、最適なエアフロー管理を実現することが可能になりました。これにより、DBX を通るエアフローが効率的に管理され、不必要な抵抗が回避されるだけでなく、必要な冷却ラジエーターのサイズと数が減って、重量が削減されています。

ハイパフォーマンス SUV においては、そのサイズとプロポーションの問題により、エアロダイナミクスを注意深く設計することが極めて重要です。DBX はインテリジェントな空力設計によって、このセグメントにおける基準を設定しています。





添付 7

アストンマーティン DBX: パワートレイン

パワートレイン・ハイライト:

- Vantage と DB11 に搭載された 4.0 リッター・ツインターボ V8 の最新バージョン
- 550PS の最高出力と 700Nm の最大トルクが、爽快なパフォーマンスを提供
- アクティブ・エキゾーストは、スポーツカーのサウンドとキャラクターを提供
- DBX 独自の要件に合わせて調整された 9 速オートマチック・トランスミッション

アストンマーティン DBX の心臓部には、Vantage と DB11 で高い評価を得ている 4.0 リッター、ツインターボ V8 エンジンの最新バージョンが搭載されています。アップグレードが施されたターボチャージャー、従来とは異なる圧縮比、改良されたインタークーラーにより、このメルセデス AMG から供給された V8 エンジン は、ハイパフォーマンス SUV に必要な圧倒的なパワーを発生します。

よりスムーズになったパワーデリバリーは、DBX の要件に適しています。シリンダーの点火順序を変更することにより、エンジン・サウンドも変化しています。アイドリング時には魅力的な低音を響かせるこのユニットは、回転が上昇するに従って、アストンマーティンならではのエキゾースト・サウンドを奏でます。アクティブ・エキゾーストバルブによって、洗練された音色を維持しながらも、バルブが段階的に開くことによって、非常に官能的なサウンドに変化します。

GT モードでは、静かでリラックスしたクルージングを行うために、バルブは閉じたままになります。Sport モードでは、バルブが開き、内に秘めたスポーツカーの本性を現します。Sport+モードを選択すると、バルブが開き、アイドリング回転数も 650rpm から 800rpm に増加して、アグレッシブなキャラクターがさらに高まります。

DBX は独特のエンジン始動手順を特徴としています。ガラス製のストップ/スタート・ボタンを 1 回押すと、エキゾースト・バルブが開きます。早朝や住宅街などで、静かな始動オプションを有効にしたい場合は、ストップ/スタート・ボタンを 2 回押します。

DBX は、一部の市場では、新しい排出規制の一環として、ガス微粒子フィルター (GPF) を備えた最初のアストンマーティンとなっています。GPF は、気流が通過するときに、その流れを滑らかにし、膨張室として機能します。つまり、特に高周波の排気音に関して、2 番目のマフラーとしての役割も担っています。これらの課題にもかかわらず、アストンマーティンのエンジニアは、DBX のドライバーと乗員が楽しめるアスト



ンマーティン・サウンドを生み出すことに成功しています。GPF の装備を必要としない市場では、オプションのスポーツ・エキゾーストを装着することによって、さらに豊かなサウンドを堪能することができます。

DBX には、SUV の要件に合わせてチューニングが施された 9 速トルクコンバーター・オートマチック・トランスミッションを搭載しています。このトランスミッションに、4 輪駆動システムとアクティブ・センター・トランスファーケースを組み合わせることにより、オンロードだけでなく、オフロードや牽引時でも、スムーズで洗練されたドライビング体験を提供します。このギアボックスは、Sport および Sport+モードでは、俊敏なシフトを実現する一方で、DBX は多用途性に焦点が当てられているため、最大 2.7 トンまでの牽引にも対応できる理想的なソリューションとなっています。

チーフ・パワートレイン・エンジニアのイェルク・ロスは、次のように述べています。「驚異的なツインターボ V8 エンジンと新しい 9 速トルクコンバーター・オートマチック・トランスミッションを組み合わせることによって、スムーズで使いやすい特性と、エキサイティングでパワフルなキャラクターを完璧に融合することができました。これによって、アストンマーティンの SUV に必要な要件が、完璧に満たされています。」



添付 8

アストンマーティン DBX: アクセサリー

アクセサリー・ハイライト:

- DBX をあらゆるライフスタイルにシームレスに組み込むためのアクセサリー・ラインナップを用意、オプションで 11 種類のライフスタイル・アクセサリー・パックと幅広い個別アクセサリーを提供
- ゴルフ、スキー、サイクリング、フィールド & アドベンチャー・スポーツなど各種ライフスタイルに特化したアクセサリーを用意。実用性の高い積載スペースと形状を誇る DBX は、荷物、ペット、装備など様々な積載物に柔軟に対応

DBX は、スポーツカーのパフォーマンスを備えたラグジュアリーSUV です。アストンマーティンは、オーナーのライフスタイルを豊かに演出する DBX 本来のスタイルに加えて、日常的なニーズにも応える魅力的なパッケージも用意しています。

アストンマーティンは、DBX の発売と同時に、同モデルをテーラーメイドして、趣味の世界の可能性を広げる 11 種類のオプション・アクセサリー・パックを設定します。スキーに情熱を傾けるオーナーには、スノー・パックが最適なソリューションを提供します。スノー・パックは、スキーバッグ、ルーフマウント・スキーラック、スノーチェーンから構成されています。このパックは、冬季のドライブのニーズに応えるだけではありません。スノー・パックには、お客様がアストンマーティンに期待するラグジュアリーなニーズに応えるべく、ブーツ・ウォーマーも付属しています。DBX に標準装備されるヒートッド・シートと同様の方法でブーツを温め、寒い朝に車内に入るオーナーに、小さな、しかし本当に快適な暖かさという歓びを提供します。

週末の長距離ドライブに特化するツーリング・パックは、4 ピース・ラゲッジセット、キャビン・サドルバッグ、助手席下のロック付き収納スペース、救急キットから構成されます。さらに、6 ピース・ラゲッジセットもオプション設定されています。このセットは、2 個の大型スーツケース、2 個の小型スーツケース、2 個のポストンバッグのコンビネーションで、アストンマーティンのエレガンスを象徴するステッチとトリミングが施されています。

ペット・パックには、カーゴエリアをペット専用のスペースとするパーティションが同梱されています。ペットが高級感溢れる 632 リットルのカーゴエリアに乗り降りする際に、ペイントワークに爪による傷の発生を防止するバンパー・プロテクターも含まれます。ぬかるみや水たまりがある場所で過ごすアドベンチャー・トリップでは、ポータブル・ウォッシャーが理想的なソリューションになるでしょう。



通勤・通学の利便性を向上させたい場合には、エッセンシャルズ・パックが最適です。このパックは、センター・コンソール・パーテーション、リアシート・エンターテインメント・ホルダー、ヒートッド・カップ・ホルダーから構成されています。お子様の送迎時には、エッセンシャルズ・パックとインテリア・プロテクション・パックを組み合わせることにより、シートカバー、リアバンパー・プロテクター、オールウェザー・マットを車内全体に適用して、室内の汚れを防止することも可能です。

ご家族やご友人との野外アクティビティに向けて、イベント・パックが設定されています。このパックは、モジューラー・ピクニック・バスケット、ピクニック・ブランケット、イベント・シーティングから構成され、各種ピクニック・ニーズに応えます。英国のブランドであるアストンマーティンは、悪天候や急な天候の変化に対応する方法を熟知しています。イベント・パックには、追加のアンブレラ・ストレージが含まれています。

野外スポーツに興味がある人のために、ガン・キャビネットとシューティング・スティックのパッケージも利用できます。このパッケージは、安全なドライブを確保するため、最高品質のソリッド・アルミニウムから製作され、セキュリティ用のロックが取り付けられています。クラシック・スタイルのシューティング・スティックは、シューティングとウォーキングの両方に最適です。高品質レザーで製作されたスティックには、安定した足場を確保するために金属製のディスクベースが取り付けられています。

慎重にセレクトされたオプション・パックには、イルミネーテッド・トレッドプレート、光沢カーボンファイバー・テールパイプ・フィニッシャー、アストンマーティン・ウイング入りバルブキャップといった小物だけでなく、自転車やサーフボードを運搬するルーフキャリアも用意されています。アストンマーティンは、ブランド・パートナー各社との共同作業により、お客様の日常性やツーリング・ニーズを叶える最良のソリューションを提供しています。

多くのオプションは、いくつかのアイテムを組み合わせたものですが、アストンマーティンは、3 種類の Maxi-Cosi チャイルドシートとベビーシートのスペシャル・エディションを含む、様々な個別のアクセサリも提供しています。レザー・トリミングされたこれらのチャイルドシートは、アストンマーティンの標準 3 点固定式 ISOFIX ベースでの使用が推奨され、乳児（45～75cm）、幼児（67～105cm）、お子様（15～36kg）に使用できます。

アストンマーティン・ラゴнда社長兼グループ最高経営責任者（CEO）の Dr. アンディ・パーマーは、次のように述べています。「DBX は、開発当初から、お客様の日常生活に完全に溶け込む存在になることを目指していました。DBX は、ライフスタイル・パックによって、クルマと一体になった生活を実現するだけでなく、さらにそれを一段上のレベルへと引き上げることが可能になります。」



これらの専用オプション・アクセサリ・パックの価格は、各地域のアストンマーティン・ディーラーにお問い合わせください。



DBX アクセサリー・パック

Expression(エクスプレッション)

キーポーチ
光沢カーボンファイバー・テールパイプ・フィニッシャー
コンフォート・ヘッドレスト
照光付きトレッドプレート
アストンマーティン・ウイング付きバルブキャップ

Touring(ツーリング)

4ピース・ラゲッジセット
キャビン・サドルバッグ
フロントシート下ロック付き収納スペース
エマージェンシー・キット

Sanctuary(サンクチュアリー)

バッテリー・コンディショナー
ボディカバー(屋内用)
クリーニング・キット

Interior Protection(インテリア・プロテクション)

オールウェザー・フロアマット
オールウェザー積載スペース用マット
リアバンパー・プロテクター
シートカバー

Essentials(エッセンシャルズ)

センター・コンソール・パーテーション
ヒートッド・フロント・カップ・ホルダー
リアシート・エンターテインメント・ホルダー
カーペット・ブーツマット

Pet(ペット)

犬用パーティション
ポータブル・ウォッシュャー
リアバンパー・プロテクター
犬用アクセサリー・パック

Event(イベント)

イベント・シーティング
モジュラー・ハンパー
ピクニック・ブランケット
アストンマーティン・アンブレラ・ストレージ



Field Sport (フィールドスポーツ)

ガン・キャビネット

シューティング・スティック

Adventure (アドベンチャー)

マッド・フラップ

ルーフ・クロスバー

ウェットバッグ・ストレージ

ヘビーデューティ・トレッドプレート

Snow (スノー)*

スキーラック (ルーフ・マウント)

スキーバッグ

ブーツ・ウォーマー

スノーチェーン

Bike (自転車)*

自転車用ラック (ルーフ・マウント)

ポータブル・ウォッシャー

その他のアクセサリ

アウトドア・カーカバー

アルティメット・カーカバー

ビスポーク・カーカバー

チャイルドシート (3 バージョン)

ウインター・ホイール & タイヤキット

ロッキング・ホイールボルト (シルバーまたはブラック)

タイヤ・クッション

スノーチェーン

ルーフボックス

サーフボード・ホルダー (ルーフ・マウント)

自転車用ラック (牽引バー・マウント)

6 ピース・ラゲッジセット

* アドベンチャー・パックとセット・オプション。